

「第9回 近赤外講習会 in 鹿児島(稲盛記念館)(中級コース)」開催のご案内

近赤外分光法に関する第9回講習会を下記により開催します。近赤外分光法に関するだいたいの知識は有するが更に高度な技術を学びたい方に最適です。各講義対面方式として、質疑応答時間を長く確保し、質問に答える形式で説明不足の内容を補足しますので、理解を深めてもらえると確信します。

万障お繰り合わせの上、奮ってご参加ください。初級コース参加されていない方も参加可能です。

なお、次回の初級コースは来年5月22日(木)PM~23日(金)AM開催を予定しています。

カワノ事務所 所長 河野澄夫
(鹿児島大学農学部 元教授)

記

1. 催事：第9回 近赤外講習会 in 鹿児島(稲盛記念館)(中級コース)
2. 期日：2024年11月28日(木)PM~29日(金)AM
3. 会場：鹿児島大学稲盛記念館 3F 会議室
4. 主催：カワノ事務所
5. 後援：近赤外研究会
6. 講師：カワノ事務所 所長 河野澄夫 (近赤外研究会 元会長)
7. 講習内容

	時 間	講 習 内 容
11 月 28 日 (木)	13:00~13:30	受 付
	13:30~14:20	1. ノイズの少ないスペクトルの測定方法 (同じ分光器を用いても、使い方によりノイズレベルが異なります。)
	14:30~15:20	2. Savitzky-Golay法によるスペクトルの前処理の実際 (平滑化、2次微分など) (Unscrambler9.8を使用。ソフトの使用方法的説明ではありません。)
	15:30~16:20	3. PLS 回帰による検量モデル作製の実際 (波長範囲、回帰係数、Cross-validationの意味を含む。)
11 月 29 日 (金)	16:30~17:00	4. ノイズの少ないスペクトルの測定方法の実際 (散乱の強い液体試料の綺麗なスペクトルの測定方法は?)
	09:00~09:50	5. 温度補償型検量モデル作製の考え方と実際 (対象物の温度制御が困難な場合必要です。)
	10:00~10:50	6. 近赤外装置(親機・子機)の標準化(機差補正)の方法と実際 (社内で複数の装置を使用する場合に必要です。)
	11:00~11:30	7. 近赤外分光法を用いた技術開発の注意点 (失敗しないためのノウハウ)
	11:30~11:50	8. 近赤外装置による日常的な(ルーチン)分析の実際
	11:50	閉 会

8. 参加者の範囲：民間、公設研究機関、大学等において近赤外分光法に関心を有する者。
9. 参加申込：次の事項を記入のうえ、e-mailにより2024年11月16日(土)17:00までに事務担当へお申し込みください。24時間以内に受付の返信メールを送ります。
 - (1) 氏名(ふりがな)：
 - (2) 所属：
 - (3) 所属住所(県のみ)：
 - (4) 連絡先 e-mail：
 - (5) 近赤外法利用の経験の有無：
 - (6) 参加理由(例1：今後の研究のため、例2：品質管理のため、など)：
 - (7) 講習内容で特に説明を希望する内容(例：回帰係数プロットの意味など)：
10. 受講料：5,000円/人(資料代及び会場使用料として)(但し、鹿児島大学学生は無料)
当日、受付にて現金でお支払いください。事前銀行振込をご希望の方は事務担当へご連絡ください。
11. 定員：先着16名(補助席使用の場合+4名)
12. 参加申込先及び問い合わせ先(事務担当)：
カワノ事務所 所長 河野澄夫 (E-mail: nir-kawano@nifty.com、TEL: 090-6164-8674)